



# 「寄木型」看護体制 はじめてみませんか？



## 私たちの思い

神奈川県の伝統工芸品「箱根寄木細工」は、異なる木材を組み合わせて美しい模様を生み出します。

この技術のように、看護職一人ひとりが持つ多様な経験やスキルを組み合わせ、柔軟で調和のとれた業務体制を築く。従来の勤務体制の枠にとらわれない新たな働き方として「寄木型」看護体制を提案します。



## 寄木型業務とは

- 個人の希望に応じた勤務内容・勤務時間で、各施設の要望に応じた様々な看護業務を「寄木型業務」とします。
- 寄木型業務を行う看護職を「Kanaナース」と呼びます。



## 期待される効果

- 多様な働き方を可能にし離職を防ぐ
- 看護職の力を最大限に活かすチーム医療の実現
- 地域全体で看護を支える仕組みづくり
- 県民の健康と安心をまもる持続可能な医療体制の構築



## 県民と共に未来を創る

「寄木型」体制は、看護職だけでなく、地域全体で支え合う医療の形です。

神奈川県の未来の医療を、共に創っていきましょう

## 神奈川県の看護の課題

- 人口10万人対看護職員数は全国平均の7割で最下位
- 常勤離職率は14%前後で全国平均を上回る
- 18歳人口の減少による看護学生の確保困難
- ナースセンターの求人・求職の登録者数の伸び悩み
- 急速な高齢者の増加